

COFFEE BREAK

■自分さがしの旅

西部ブロック／50代自分さがし人

自分さがしの方法はいろいろあると思いますが、歴史文化の中に身をおきそのやさしさや厳しさを感じながら、忘れかけていた自分らしさや、今まで気づけなかった新しい発見をする。非日常的な小さな旅の中で、自らに出会えるかもしれません。きょうは、小さな旅遠州三山巡りを紹介したいと思います。

油山寺（袋井市村松1番地）

真言宗の古刹で広い境内には、国指定重要文化財の山門や三重の塔など数多くの文化財があります。宝生殿、方丈の欄間には長さ120mの世界一の大念珠がかけられており、3年に一度大念珠祭が行われます。紅葉の頃には沢山の人で賑わいます。

※心の体験修行（法話、座禅、写経、滝行など）要予約

法多山（袋井市豊沢2777）

奈良時代に聖武天皇の勅命により、行基上人が、この地に正観世音菩薩を安置したのが始まりといわれています。由緒ある厄除け観音として知られ、桃山時代の遺風を残す仁王門が参拝客を出迎えます。正月には多くの初詣客で賑わいます。名物厄除けだん

ごは今も変わらぬ味で訪れた人に親しまれ、リピーターも多い人気の品です。

※写経の会、寺スタで自分みがきはいかがですか。（毎月第3日曜、12月～2月は除く）

可睡齋（袋井市久能2915-1）

禅林600年の歴史と伝統を持つ曹洞宗屈指の名刹。東海道の禅の大道場と、わが国唯一の火防守護、秋葉信仰の総本山として知られています。4月上旬～5月上旬にかけて60種2000株の牡丹が咲き誇ります。戦国時代、武田信玄に追われた家康が隠れて難を逃れたと伝えられている出世六の字穴は、自分も子供の頃何度かくぐった経験があります。昭和12年完成の水洗トイレ(東司)は一見の価値あり。

※座、書、食の体験会（座禅、写経、精進料理をワンセットにした座禅会）

（参照 遠州三山自分巡礼の旅 ご利益マップ）



油山寺



法多山



可睡齋

■【スマホってどうよ】

中部ブロック／苦虫大人

去年10月、携帯からスマホに変えた。スマホに変えて一番便利なのはGメールがどこでもすぐ読めることだ。このGメールのよさは家のPC以外の場所でもネットがつながる環境ならメールや転送ファイルが見れるとこ。外で事務所のメールが見れて事務所に戻って即対応。

よそ様の事務所でも自分のメールがスマホから読めるし自宅のメールもすべて転送OK。電車での移動中やちょっとした待ち時間にサクサクっとスマホですべてのメールを読むようになって事務所でのメールチェック時間が激減したことが私にとっては一番のスマホ恩恵かなあ。

エクセルやPDF、画像データも専用ソフトが入っているので一応閲覧は可能だけど、これは無いよりはましといった程度でやはり、紙やPC画面で見たほうがわかり易くスマホからの文字入力のはっきり言ってしまう。スマホからは大量の文章は書けないと思っているべき。ツイッターやフェイスブックのつぶやき程度ならまあ許せる範囲だろう。インターネットも一応すべて見れるがなんせ手のひらサイズの画面なのでちっこくてスマホ用サイト以外はちょっと見にくい。とはいえスマホは携帯時代より4000円の通信費のアップにもかかわらず

この便利さはもう手放せない。フェイスブックは古い友人に出会えたり身近な友人知人の近況が解り、これもスマホならリアルタイムでお知らせが届くので距離感や空間を感じない。建築士会の仲間ともフェイスブックでプライベートなことや仕事中の様子をやりとりして実際に会えなくても以前より親近感がアップした。その他いろいろソフトがあるけど私は使用してない。本当のことを言えばスマホは便利だけど無くてもやっていけるモノだってこと。ただ今まで不便だと思っていた事を便利にしてくれただけの道具なのだ。

ジョブズ様ごめんね。こんなこと言って、でもこれが本心。

とくに私たち建築士にとって本当に大事なことはやはり現実の世界で人と話をすることや現場に足を運んで自分の目と皮膚と鼻で確認することに尽きる。便利な道具はありがたいし利用できるならした方が良く頼りすぎると思わぬ痛い目に遭うぞって年寄くさい？。自分は携帯で充分、これ以上はいらないという人も結構いてその気持ちもよく解る。要するにあくせく時間に追われている私にはスマホは時間を有効活用するのにとても有効な道具なのであった。

無礼句

■「ニューイヤーミーティング」 西部ブロック/タカチャッポ

毎年、日本クラシックカー協会主催で旧車のイベント「ニューイヤーミーティング」がお台場の駐車場で開催されています。私達のクラブも近年参加しています。寒い時期だからちょっと考えるけど……。しかし、今年はちょっと様変わりしました。お台場の駐車場が東京オリンピック準備の為使用出来なくなったとの事。変更場所は「富士スピードウェイ」。しかも、2月2日の日曜日。この時期の「富士スピードウェイ」は、雪が心配でしたね。

当日、朝5時にクラブ員仲間と現地到着。テント内にテーブル・椅子を並べて後は防寒対策。(スポットヒーターを設置)お台場で開催していた頃は、車の展示とクラブ員同士の交流でした。しかし、今回はサーキット走行が追加されました。サーキット場なので当然と言えば当然です。クラブ員からは2台が出走しました。午前中から、雨が降りだしコースのコンディションはイマイチでしたが、多くの車がいとも大切にしている車を目いっぱい走らせていましたね。

お台場での開催時は、参加台数もかなりあり多くの観光客が見学に来ていました。賑やかなお祭りと

言う感じです。このイベントは、旧車のオーナー同士の交流はもちろんの事旧車を多くの一般の方にもふれあってもらえる場所として、相応の意義があると考えています。やはり、「富士スピードウェイ」と言う場所は不特定多数が集まる場所ではありません。車好きでないと来ませんね。仲間内でワイワイと楽しくやっている感じです。それはそれでいいのですが……。

当日は例年よりも暖かく雨でしたが(でも寒かったなあ)、その3日後は御殿場では40cmの雪が降りました。今年のはたまたま開催出来たけど来年はどうなんだろう?もう少し、場所を考えた方がいいかも知れないなあ。



■木材の活用

東部ブロック/モリモリゾー

最近になり何回か山林の枝打ち、下刈りの作業を行う機会があった。(わが家は(一社)某報徳社という団体の社員の為である。詳しい説明はここでは省略させて頂くが掛川市にある(公社)大日本報徳社の下部組織で箱根、伊豆、愛鷹、富士山麓に多くの山林を所有している。)

仕事柄、木に馴染みがあるとは言っても現場で製材された物しか見た事がなく山林の手入れの知識などを知らない素人である。

そんな素人の自分でも、目的の山林まで行程で診ていると良く管理されている元気な山林、全く手入れのされていない山林は一目瞭然である。

手入れがされ良く管理されている山林は間伐、枝打ちはもちろんされていて太陽の光は地面にまで届き下草が生い茂っている。もちろん幹は太く枝振りも良い。一方、手入れのされていない山林は木の高さの割に密集しており幹は細く、下草も生えておらず山林の中は薄暗く不気味である。奥の方では過去の台風、暴風雨での倒木が見られる。

折しも2010年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されて、大変喜ばしい事でもあるが実績は上がっているのだろうか。

現在、戦後に植林された50~60年生の活用期となった樹林多くあり、2020年迄に木材自給率を50%以上に高めることを掲げている。

しかしながら過去に50%あったのは1970年頃であり、自給率30%前後の現在では減少のカーブより急カーブで数字を上げなければならない。

日々の業務で微力ながら木材の利用にも心掛けてはいるのだが、更なる強力な施策を望むところだ。

そして、新たに植林する際には無花粉種でお願いしたいものである。